

いま福島に **診療所** と **労働組合** が必要です



● 小児甲状腺がんが増加

福島県の県民健康調査検討委員会は8月24日、小児甲状腺がんと診断された子どもが、疑いも含めて104人と発表しました。しかも、手術した54人のうち8割を超える45人に、リンパ節などに転移があった、ということです。

大変な事態が起きています。にもかかわらず県の検討委員会は「放射能の影響ではない」と居直り続けています。

ふくしま共同診療所は、政治的な圧力に屈せず、被ばくの現実としっかり向き合い、住民の命と健康を守る拠りどころとなっています。

● 住民に帰還と被ばくを強いる6号線開通

政府は9月15日、帰還困難区域となっている国道6号線富岡町～双葉町間の通行規制を解除しました。しかし、放射線量は相当に高く、通過する車が、放射性物質を拡散させ、内部被ばくの危険を増大させています。

また、原発事故の現場も収束とはほど遠く、いつまた緊急事態になるか分かりません。

被ばくの危険があれば、住民の安全や健康を第一に考えなければなりません。それが国や県の責務です。「復興」＝経済を優先させて、住民の命を犠牲にすることは許されません。

● 労働組合と住民の団結でたたかおう！

動労水戸は、住民に帰還と被ばくを強いるJR常磐線の竜田延伸に反対してストライキに決起しました。労働者と住民の命を守ることは、労働組合の使命です。

安倍政権は、原発再稼働のために、福島を切り捨てていこうとしています。避難指示を解除し、帰還と被ばくを強制しようとしています。

社会を動かしている労働者が団結して立ち上がれば、世の中は変えられます。あらゆる職場にたたかう労働組合をつくり、労働者と住民の団結した力で、未来を開きましょう！

万国の労働者の団結で 戦争を止め 社会を変えよう！

11.2 全国労働者総決起集会

11月2日（日）正午 / 東京・日比谷野外音楽堂

職場の問題 労働相談は

いわき合同ユニオン へ

TEL. 0246-38-7840

Email. iwakigodo@yahoo.co.jp